

## 一人打ち男子の部

	氏名	性別	住所	演奏曲名	曲紹介文
1	上岡 強太	男	栃木県	乱雲(らんうん)	空に乱れ飛ぶ雲。その表情も様々で時には小さく、時には雷を纏い大きくなる。そんな現象を表現しました。
2	持田 誠壹	男	愛知県	一打入魂 (イチダニューコン)	一打一打に気持ちを込めて演奏させていただきます。よろしくお願い致します。
3	加藤 慎二	男	茨城県	千軍万馬 (せんぐんばんば)	一瞬の気の緩みが命とり…壮絶な裏切りの戦の中、精根尽きるまで戦い抜く…とてつもない戦が今…はじまる…
4	稲垣 昌良	男	千葉県	神鳴り (かみなり)	天を裂く稲妻、轟く雷鳴。古来より「神鳴り」と恐れられた雷の持つ力、それを操る雷神の様を表現します。
5	響 道宴	男	埼玉県	森羅万響 (シンラバンキョウ)	天地万物は、すべてが繋がりに響き合っている。今ここからの一音が新たな世界にイノチを吹き込めるように…。
6	今井 昂	男	石川県	帰郷の響 (キキョウノヒビキ)	輪島に生まれ一度離れ色々経験しました。しかし輪島に戻り改めて感じたいろんな音を、大太鼓で表現します。
7	山田 嘉穂	男	神奈川県	雲蒸竜変 (うんじょうりゅうへん)	新しき竜が雲を裂き、雄々しき姿を現す様を表現した曲です。堂々と演奏を行います！
8	加藤 秀明	男	神奈川県	粹錬(スイレン)	武道や伝統芸能の「間」を学び、技術にさらに磨きをかけて創り上げた曲です。全身全霊で打ちこみます。
9	浅野 駿	男	長野県	頂(イタダキ)	全身全霊で打ち込みます。
10	宮崎 説也	男	三重県	挑み(イドミ)	日々自分自身と向き合い、挑戦し続けてきました。全身全霊で打ち込みます。
11	佐藤 洸太	男	愛知県	粒々辛苦 (りゅうりゅうしんく)	太鼓の一音一音を穀物に例え一粒一粒の尊さを表現しました。
12	床井 勇太	男	栃木県	風馬(フウマ)	上光作調。空は青く澄み渡り、どこまでも続く大草原。風を切り颯爽と駆ける馬の蹄音を表現した曲です。
13	保知戸 宏輝	男	栃木県	風馬(フウマ)	上光作調。空は青く澄み渡り、どこまでも続く大草原に風を切り颯爽と駆ける馬の蹄音を表現した曲
14	高野 正樹	男	栃木県	風神(フウジン)	上光作調。風は四季を運び、命を運ぶ神の息。静かなる爽風や、吹き荒ぶ烈風など、神の悪戯心を表した曲です。
15	塚本 隼也	男	東京都	鼓魂(ココロ)	一打一打気持ちを込めて打ち込むことを心がけて作調しました。よろしくお願い致します。
16	青木 よしあき	男	愛知県	響命願者 (キョウメイガンジャ)	和太鼓の響きに命を込め、平和を願い打ち込みます。
17	田中 恵一	男	福岡県	昇舞(ショウブ)	一蓮托生を伝えたいです。
18	真鍋 徹也	男	東京都	力道(リキドウ)	日本神話の闘神倭ノ王(トウシンスサノオウ)をイメージした曲です。精神力、瞬発力、全ての力を集約し、大太鼓を打ち込みます。
19	江下 光利	男	神奈川県	領域(リョウイキ)	会場全てを己の領域とし、感動と興奮そして心奪う音色を響かせ、一挙一動に魂を込めて打ちこみます。
20	南谷 賢	男	東京都	千華(センバ)	自分を支え成長させてくれる家族や友人、多くの方々への感謝の気持ちを一打一打華やかに打ち鳴らします。
21	石井 昭仁	男	埼玉県	峠の響き (トウゲノヒビキ)	村のお祭りや鈴虫の唄で眠る夏、雪の華が咲き、緑や赤に化粧をする葉っぱ、故郷への感謝を込めた曲。
22	境 学	男	神奈川県	空海(クウカイ)	美しく壮大な空、海から感じたインスピレーションを表現した曲。情景を想像しながらお聴きください。
23	南 光	男	静岡県	一念天に通ず (イチネンテンニツウズ)	体イッパイ、心イッパイ、全身全霊で大太鼓を打ち込みます。
24	原岡 若輝	男	愛知県	郷の音(サトノネ)	私の故郷を表現しました。故郷の歴史や自然そして故郷の明るい未来への願いを込めて打ち込みます。
25	生田 隆明	男	三重県	心打ツ (ココロウツ)	和太鼓を通じた多くの出会いに日々感謝。聞いていただく方の心に届く演奏をめざし、全力で打ちます。

第49回 市民祭 岡谷太鼓まつり 世界和太鼓打ち比べコンテスト申込者一覧

26	榎本 泰之	男	東京都	鼓粹(コイキ)	大太鼓の音色を江戸の粋に似せ表現します。大間、短間と一つの太鼓より様々な音色を表現していきます。
27	宮澤 辰典	男	長野県	雷雲(ライウン)	雷・雲・風・雨すべてを支配し表現します。
28	石井 虎弥太	男	神奈川県	騎虎の勢い (キノイキオイ)	虎の上に乗る駆け抜けるという意味を込め作曲された演目です。気持ちを込め、全身全霊打ち込みます。
29	國分 入道光雲	男	愛知県	無作志(改) (ムサシカイ)	大太鼓に取り組んで約18年。まだまだ先を見つめながら今回は長年打ち込んだこの曲を3分にまとめて挑戦します。
30	村山 尚瞳	男	熊本県	戦(イクサ)	戦が始まる前の武士達の緊張感や、敵陣に飛び込んで行く様子をイメージして作曲しました。
31	池内 順平	男	東京都	己(オノレ)	元気に太鼓が打てることに感謝。心を込めて、皆さんに思いが伝わる熱い演奏をしたいと思います
32	小池 晃大	男	東京都	波ノ花 (ナミノハナ)	波の花は、厳しい冬の海でしか見ることができない。狂風に舞う波の花、荒れ狂う海を表現します。
33	高松 秀行	男	和歌山県	大太鼓 ソロ (オオダイコ ソロ)	鬼撥で音楽を表現できるのか、それとも木の棒を振りまわしているだけなのかが、注目点。
34	高松 三蔵	男	和歌山県	飛翔小龍 (ヒショウシャオロン)	地の底より天空へ。
35	猪瀬 七頌	男	栃木県	風馬(フウマ)	広い大草原を風を切って走る馬をイメージして作られた曲です。
36	猪瀬 英男	男	栃木県	風馬(フウマ)	広い大草原を風を切って走る馬をイメージして作られた曲です。
37	菅原 直也	男	長野県	御射宮司流鎬馬 (ミシヤグジヤブサメ)	諏訪は流鎬馬の総元と言われております。その武技を争う様子を表現し、さらに一人打ち用に一部アレンジした曲です。
38	新井 育輝	男	埼玉県	火山(カザン)	地球の各所にある火山。その地中深くからマグマが煮えたぎり、一気に噴火していく様子を曲にしました。
39	今村 敦輝	男	東京都	我武士(カブト)	我武士(カブト)と呼ばれる己だけを信じ荒れ狂うように戦いぬく男の姿を精一杯大太鼓で表現します。
40	熊谷 拓垂	男	東京都	雷轟(ライゴウ)	古来、神秘的であり神様やその啓示と考えられて来た『雷』。その大音は大太鼓を通し響き渡る。
41	高宮 翔	男	長野県	瞬(シュン)	一打一打に想いを込めて。ほんのわずかな時間ではありますが、一瞬の輝きをお届けしたいと思います。
42	白石 翔	男	東京都	迅雷風烈 (ジンライフウレツ)	意味は、迅雷は天地を轟かす激しい雷鳴。風烈は激しく吹く風。その二つを変化をお楽しみ頂けたら幸いです。
43	伊藤 智洋	男	栃木県	暁風(ギョウフウ)	夜頃の冷たい海風が朝焼けと共に吹き、初めはゆっくりと徐々に早く強く陸に向かって吹く風を表現した曲です。
44	國枝 篤志	男	岐阜県	天照らす・響音 (アマテラス・トヨミ)	世を照らし響き渡る大太鼓。時の流れの中で静かに激しく打ち込んでいきます。近藤克次氏編曲指導。

※申し込み順、敬称略

※当日の出場順ではありません。

※曲名、曲紹介文は変更となる場合がございます。